
闇夜の月

時雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

闇夜の月

【著者名】

ZZマーク

N7608P

【作者名】

時雨

【あらすじ】

れぞれぞ れぞれぞれ

雨が降っている。

れぞれぞ れぞれぞれ

その中で私は一人傘もささずに公園のブランコをゆっくりとくつぐっていた。

Infinity(前書き)

テイルズオブジアビスの原作寄りオリ主人公トリップ小説です！！！
シリアル多め…？
女主です。

“雨が止む”

雨が降つてゐる。

“雨が止む”

その中で私は一人傘もささずに公園のブランコをゆっくりとくつ
こいでいた。

“雨が止む”

雨が止む氣配は全くと言つていよいよ無い。

私はぼーっと遠くを見ていた。

人々が傘をさしながらせわしなく歩いてゐる。

私の服はもうびしょ濡れだ。

“雨が止む”

そんな私の尻も濡れている。

それもこの雨のせいなのだろうか。

“雨が止む”

ああ、私がこうして雨にうたれている間にも時は進んでいく。

私がいなくとも、誰がいなくなつても地球は何も変わらなくまわり
続ける。

私はこの地球にすんでいる大勢の人々のうちのたった一人。

ただ、それだけ。

私の存在意義とははたしてなんなのだろうか。

さあさあ さあさあ やあやあ やあやあ

雨は降り続ける。

『この世に偶然なんて無い。あるのは必然だけ』

やあ、あの人は言った。

ならばこの出会い、この突拍子もない出来事もすべていつなるようになっていたのだろうか。

全ては必然、そのなのだろうか。

十、八、

↳ Infinity(後書き)

まさかの主人公最強とかになってしまふ可能性大かも…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7608p/>

闇夜の月

2010年12月31日01時18分発行